［条例施行規則64条関係（500ｔ以上1000ｔ未満排出事業者用）］

（様式第33号）（第64条関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

2023 年 6 月 21 日

（宛先）長野市長　　様

提出者

住　所　新潟県新潟市中央区東万代町1-22

氏　名　株式会社安藤・間　北陸支店

執行役員支店長　清水公

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　025-243-5578

産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画について、長野市廃棄物の適正な処理の確保に関する条例第79条第1項の規定により提出します。

事業場の名称	株式会社安藤・間　北陸支店
事業場の所在地	新潟県新潟市中央区東万代町1-22風間ビル
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	160億円
③ 従業員数	120人
④ 産業廃棄物の一連の処理工程	別紙2の通り

（日本産業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙3のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和　　4年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	金属くず	建設混合廃棄物（安定型、管理	石綿含有産業廃棄物
排　　出　　量	485.49t	51.30t	23.96t	88.51t	72.06t	1.86t

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	廃石膏ボード			
排　　出　　量	3.26t	8.41t	83.65t			

（これまでに実施した取組）
全社で土建別に数値目標を定め、混合廃棄物排出量の削減
「環境月間」（6月）の行事計画作成、活動状況の報告
支店幹部による作業所の環境パトロールの実施

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	金属くず	建設混合廃棄物（安定型、管理	石綿含有産業廃棄物
排　　出　　量	200.00t	20.00t	10.00t	40.00t	30.00t	1.00t

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	廃石膏ボード	0	0	0
排　　出　　量	3.00t	4.00t	20.00t			

（今後実施する予定の取組）
分別用BOXなどの整備による建設系産業廃棄物の分別徹底
梱包材の低減など、廃棄物の発生抑制に資する施工方法の採用
作業所の「環境行動実施計画書」による環境負荷の低減

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・日本建設業連合会北陸支部主催の環境アンケート調査への協力
・環境月間（6月）に、作業所毎に行事計画を作成し実施
・全社で混合廃棄物の排出量削減の目標値を決めて管理

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
「支店 環境目的目標（3か年）2022年度～2024年度」の計画・実施
【土木現場】施工高当たりの混合廃棄物排出量を削減
【建築現場】延床面積当たりの混合廃棄物排出量を削減

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和　　年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック（廃タイヤ、発泡	金属くず	建設混合廃棄物(安定型、管理	石綿含有産業廃棄物
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00t					

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	廃石膏ボード	0	0	0
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						

（これまでに実施した取組）
実施していない

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック（廃タイヤ、発泡	金属くず	建設混合廃棄物(安定型、管理	石綿含有産業廃棄物
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	廃石膏ボード	0	0	0
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						

（今後実施する予定の取組）
実施していない

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和　　年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック（廃タイヤ、発泡	金属くず	建設混合廃棄物(安定型、管理	石綿含有産業廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量						

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	廃石膏ボード	0	0	0
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量						

（これまでに実施した取組）
実施していない

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック（廃タイヤ、発泡	金属くず	建設混合廃棄物(安定型、管理	石綿含有産業廃棄物
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量						

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	廃石膏ボード	0	0	0
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量						

（今後実施する予定の取組）
実施していない

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和　　年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃プラスチック（廃タイヤ、発泡	金属くず	建設混合廃棄物（安定型、管理	石綿含有産業廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	廃石膏ボード	0	0	0
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						

（これまでに実施した取組）
実施していない

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃プラスチック（廃タイヤ、発泡	金属くず	建設混合廃棄物（安定型、管理	石綿含有産業廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	廃石膏ボード	0	0	0
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						

（今後実施する予定の取組）
実施していない

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和　4　年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アスファルト、レンガ	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード含	廃プラスチック（廃タイヤ、発泡スチロール含	金属くず	建設混合廃棄物（安定型、管理型）	石綿含有産業廃棄物
全処理委託量	485.49t	51.30t	23.96t	88.51t	72.06t	1.86t
優良認定処理業者への処理委託量	70.21t	51.30t	21.46t	88.51t	72.06t	0.00t
再生利用業者への処理委託量						
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	廃石膏ボード	0	0	0
全処理委託量	3.26t	8.41t	83.65t	0.00t	0.00t	0.00t
優良認定処理業者への処理委託量	2.75t	8.13t	83.65t			
再生利用業者への処理委託量						
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						

（これまでに実施した取組）
担当者による中間処理業者、処分場の現地確認（年1回）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アスファルト、レンガ	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード含	廃プラスチック（廃タイヤ、発泡スチロール含	金属くず	建設混合廃棄物（安定型、管理型）	石綿含有産業廃棄物
全処理委託量	200.00t	20.00t	10.00t	40.00t	30.00t	1.00t
優良認定処理業者への処理委託量	70.00t	20.00t	10.00t	40.00t	30.00t	1.00t
再生利用業者への処理委託量						
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	廃石膏ボード	0	0	0
全処理委託量	3.00t	4.00t	20.00t	0.00t	0.00t	0.00t
優良認定処理業者への処理委託量	3.00t	4.00t	20.00t			
再生利用業者への処理委託量						
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						

（今後実施する予定の取組）
優良認定処理業者への委託を優先していく。

※事務処理欄

備　考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が１２以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別紙１

産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処理事項			産業廃棄物の種類												
			がれき類(コンクリがら、廃アスファルト、レ	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボー	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール	金属くず	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	廃石膏ボード	0	0	0	合計
排出抑制に関する事項		前年度排出量(実績)	485.49t	51.30t	23.96t	88.51t	72.06t	1.86t	3.26t	8.41t	83.65t	0.00t	0.00t	0.00t	818.50t
		本年度排出量(計画)	200.00t	20.00t	10.00t	40.00t	30.00t	1.00t	3.00t	4.00t	20.00t	0.00t	0.00t	0.00t	328.00t
自ら行う(行った)再生利用に関する事項		前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
		本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
自ら行う(行った)中間処理に関する事項	自ら行う(行った)熱回収の量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
		本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	自ら中間処理により減量する(した)量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
		本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
自ら行う(行った)埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
		本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
処理の委託に関する事項	全処理委託量	前年度実績	485.49t	51.30t	23.96t	88.51t	72.06t	1.86t	3.26t	8.41t	83.65t	0.00t	0.00t	0.00t	818.50t
		本年度計画(目標)	200.00t	20.00t	10.00t	40.00t	30.00t	1.00t	3.00t	4.00t	20.00t	0.00t	0.00t	0.00t	328.00t
	優良認定処理業者への処理委託量	前年度実績	70.21t	51.30t	21.46t	88.51t	72.06t	0.00t	2.75t	8.13t	83.65t	0.00t	0.00t	0.00t	398.07t
		本年度計画(目標)	70.00t	20.00t	10.00t	40.00t	30.00t	1.00t	3.00t	4.00t	20.00t	0.00t	0.00t	0.00t	198.00t
	再生利用業者への処理委託量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
		本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	認定熱回収業者への処理委託量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
		本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
		本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t

【記載方法】

- 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を、下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。